

屋久島の 魅力に迫る！ その37

— ネイチャーデザイン —

わが社では「ロゴマーク」として「ネイチャーデザイン（Nature Design）＝自然はデザインしている」を20年ほど前から使っています。

その想いは「木」：自然素材を扱う者として「自然が創りだしたデザインを徹底して活かしていくこと」を私たちの「コンセプト=使命」とするというものです。

この「ネイチャーデザイン」の考えの「原点」ともいえるのは、小学校の「理科の時間」に見た「雪の結晶」です。あの「美しさ」と「不思議さ」に驚き、衝撃を覚えたことを今でも思い出すことができます。

「えっ？ この綺麗な模様、誰が？ どうやって？ ······『自然』ってスゴイなあ！！！」当時は、まだ自然に恵まれた環境の中で育ち、別の「追体験」を繰り返してはきたものの、しばらくその想いは意識下に隠れていたようです。

20代になり、仕事を始めてから「木」に触れ、美しい「杢目」に出会う機会が増えるにつれ、自然という偉大な創造主が、巧妙で纖細な作品をつくり出す、その「デザイン力」に魅せられ、「自然はデザインしている」→「それを活かすのが自分たちの仕事だ」と考えるようになりました。そして、とりわけ「屋久杉」を手にする時は、強くこの想いに駆られてきました。

さて、半世紀以上前の科学者で「中谷宇吉郎」（1900～62年）という人がいました。彼は「雪の結晶の美しさ」に惹かれ、夢中で探求した結果、世界で初めて人工的に「雪の結晶」をつくることに成功した人物です。そして、「雪は天から送られた手紙である」という素敵な言葉を残されました。

私は「Nature Design」の世界に居られることを心から幸せに思っています。



NATURE DESIGN 岡崎製材株式会社

代表取締役 八田欣也